

大和観光株式会社運輸安全マネジメント

□はじめに

大和観光株式会社は輸送の安全が最重要であるという認識を社長以下全社員すべてに浸透させ、輸送の安全に関する計画の策定・実行・チェック・改善を繰り返し、安全マネジメントの継続的改善を行い、常に輸送の安全確保の向上に努めてまいります。

□運送の安全に関する基本的な方針

社長は輸送の安全確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社内において輸送の安全確保に主導的な役割を果たします。また、現場における安全に関する声に真摯に耳を傾けるなど現場の状況を十分ふまえつつ、社員に対し輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底させます。

輸送の安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善を確実に実施し、安全対策を不断に見直すことにより、絶えず輸送の安全性の向上に努めます。また、輸送の安全に関する情報については積極的に公表します。

□運送の安全に関する取り組み

- ・朝礼時に輸送の安全が最重要であるという認識を全社員一致して持つよう訓示します。
- ・国土交通省より配信されるメールマガジン「事業用自動車安全通信」を掲示し社員間で事故撲滅のための取り組みについて話し合います。
- ・乗務員は定期的に独立行政法人自動車事故対策機構主催の適正診断を受け、自己の性格・動作の判断力を認識し、安全運転の向上に努めます。
- ・健康体であることが安全運行の基本であることを認識し、乗務員は健康診断を完全に行い、安全運行に支障のきたす疾病のチェック及び生活習慣病についても注意をはらい体調の管理に万全をつくします。
- ・運行管理者及び補助者は輸送の安全に関する講習を積極的に参加し、常に最新の情報の入手に努めます。
- ・ドライブレコーダーのデータを活用した効果的な指導・監督・フォローアップを行い運転者の技能の維持・向上をめざし事故削減につなげます。
- ・社外で行われる交通安全コンテスト等に積極的に参加します。昨年に引き続き大阪府無事故・無違反チャレンジコンテストに参加し、ドライバーの安全運転への意識向上に繋がります。また、その際に必要となる運転記録証明書を取り寄せることにより、勤務時間外での交通法令違反が無いかの確認を行います。

□ 運送の安全に関する目標及び達成状況(令和4年度)

重大事故ゼロ・・・(令和4年度発生件数ゼロ)

(死亡事故0件・重傷事故0件・軽傷事故0件・物損事故0件・健康起因事故0件・事故報告書提出件数0件)

自損事故件数・・・(令和4年度発生件数9件、令和3年度7件、増加2件)

後退時自損 3件→9件

離合時事故 4件→0件

その他事故 0件→2件

バックで車両を操作する際の接触事故が依然発生してしまいました。焦りと油断・確認不足によるものが多い。庇・花壇等の構造物との接触が4件あったので車両上部・下部を含めた空間認識についてもさらに注意していきます。その他の事故として、空車信号待ちでの他車からの追突1件、センターラインオーバーの他車両による接触1件。いずれも人身被害無し。

事件事例を掲示して危険の認識を社内で共有します。

□ 令和5年度目標

重大事故ゼロ

事故発生件数 9件→6件

事故発生件数 3割減をめざします。

社内掲示・朝礼時訓示

「プロドライバーであることを常に意識し、他の運転者の模範となろう」

□ 運送の安全に関する重点施策

- ・ ドライブレコーダーの活用

運行データに基づく安全対策を推進します。

ヒヤリ・ハットの報告を推進して画像データによる情報の共有ができるようにします。

- ・ シートベルト着用の徹底。

走行中席の移動を絶対にしない。

確実に停車するまで席を立たない。

これまでも運行前に注意事項としてお願いしてまいりましたが、守っていただけないお客様に対して運行の中断も含め対応する等のご説明をさせていただき、徹底した対応をしていきます。

- ・ ご乗車時のお客様への車内でのマスク着用と乗車の際の指先消毒の協力のお願い。

・車内消毒の徹底。

□運送の安全に関する計画(令和 5 年度)

新規購入車輛に衝突被害軽減ブレーキ・ふらつき注意喚起装置等の安全装置の装着した車輛を導入します。令和 5 年度は 2 両導入予定。

□運送の安全に関する教育・研修の計画

独立行政法人自動車事故対策機構主催の適正診断・・・2 名受診

独立行政法人自動車事故対策機構主催のセミナー・・・1 名受講

□その他事項

安全管理規程の制定及び届出ー有り

直近 3 年間の運輸安全マネジメント評価ー無し

直近 3 年間の認定セミナー受講ー有り

輸送の安全にかかわる内部監査ー有り

安全統括管理者ー運行管理課長(平成 25 年 10 月 1 日選任)

令和 5 年 3 月 28 日

大和観光株式会社